

事務事業評価表（内部管理事務等）

1次評価日（主幹等） 26年3月31日

2次評価日（課長等） 26年3月31日

1 事業名	財政事務			コード	163212	
2 担当部課	部等	総務部	課等	財政課	作成者	小松 秀尊
3 事業概要	目的体系	基本目標	総合計画の推進に向けて			
		政策	総合計画の推進に向けて	施策	将来を見据えた行政経営の推進	
		予算科目	財政事務費	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	その他（内部事務等）	国県補助	なし	
		根拠法令	地方自治法			

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	最少の経費で最大の効果が図られる行政運営に向けた予算編成を実施するとともに、予算の適正な執行や市民への情報提供により、財政運営の透明性を高める。		
目的	対象者	市民	
	意図	健全財政を維持しながら、限られた財源の中で最大の市民サービスを提供する。	

5 事業の実施内容	*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<p>平成26年度の予算編成は、大変厳しい財政状況のなか、中長期的な視野に立って、将来にわたり安定した財政運営を図るため、限られた財源を重要施策へ集中するとともに、より一層質の高いサービスの安定的・継続的な提供と効果的・効率的な行政運営の両立を目指して予算編成を実施した。</p> <p>予算編成に当たっては、現在推進している重要施策への一定の財政負担を踏まえ、財源を各部等へ枠配分することとし、市民生活に直結するソフト事業についても十分配慮する中で、予算を編成した。なお、行財政改革プランに定める3年に1回の使用料・手数料等の一斉見直しの年であったことから、予算編成に併せ、平成26年4月の消費税率の改定を含めた全面的な見直しを実施した。</p> <p>また、条例等の規定に基づき、年2回広報などにより、岡谷市の財政状況を公表したほか、新公会計制度によるバランスシート等の整備・公表等を行い、広く市民に対して岡谷市の財政状況などの情報提供を行った。</p> <p>このほか、通年にわたり、予算執行管理、補正予算の調整などの予算事務のほか、決算、地方交付税、起債等の事務を行った。</p>		
前年度の課題への対応	当初予算において不足する財源を基金からの繰入れに依存する編成が続いていたが、今後の財政運営や基金残高の状況などから、予算編成において、財源を枠配分とし、基金繰入金2億円とする方針を立て、これに基づく予算編成とすることができた。		

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円円で換算）			[単位：円]
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	279,505	432,274	496,000	467,000
経常経費	279,505	432,274	496,000	467,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
② 人件費	32,000,000	32,000,000	32,000,000	32,000,000
正規職員の人数(人)	4.00	4.00	4.00	4.00
③ 合計コスト (①+②)	32,279,505	32,432,274	32,496,000	32,467,000
前年度比		100.5%	100.2%	99.9%
財源内訳	32,279,505	32,432,274	32,496,000	32,467,000
一般財源	32,279,505	32,432,274	32,496,000	32,467,000
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明				
④ コストに関する補足説明				

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
地方財務協会賛助会 員負担金	件数	1	1	1	1
	金額	40,000	40,000	40,000	40,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	40,000	40,000	40,000	40,000
	割合	14.31%	9.25%	8.06%	8.57%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課 題	<p>(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること)</p> <p>予算編成に関しては、改善を行っているものの、日程的・時間的な制約や厳しい財政状況という現実のなか、要求額の積み上げによる予算編成や、シーリングによる一律の予算削減が限界に来ており、枠配分による予算編成とした場合でも、市民サービスの向上と健全財政の両立、効果的・効率的な行財政運営を前提とした予算編成を行っていかなくてはならず、予算編成方針、編成方法の策定には大変難しい状況となっている。</p>
	<p>(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <p>予算編成の方法については、実施計画や組織・定数も含め、ヒアリング方法、要求・積上げ方法、シーリング、枠配分など、いくつかの選択肢があることから、中長期的な財政運営を考慮し、それぞれの長所・短所を検証しながら、その時々重点施策や事業展開などに応じ、企画課・総務課と協議しながら、進め方の検討を行う。また、編成に取り掛かる以前に、担当課等において予算編成に向けた協議・調整等に早期に着手するなど、可能な限り前倒した取り組みを進め、十分な時間をかけ、予算編成を行う。</p> <p>市民サービスの向上には一定の経費が必要であるが、限られた財源のなか健全財政維持のために、必要な事業の取捨選択をより一層進める中で、財政運営と事業推進のバランスを総合的に考慮しながら予算編成に取り組む。</p> <p>情報提供については、市民が必要としている情報を、適時によりわかりやすく提供できるよう、市報や財政事情の公表、わかりやすい予算書など、市民の視点に立った情報提供に努める。</p>
改善方法	
改善開始時期	平成26年4月

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	
----------	--------	--	--